年間授業計画　新様式

東京都立東大和南高等学校 令和６年度 教科　　地歴公民　　科目　世界史精講

教　科：　地歴公民　　科　目：　世界史精講　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（１～７組：　関　）

使用教科書：　詳説　世界史　　）

教科　地歴公民　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について歴史的なものの見方や考え方について思考し、説明できること。

【学びに向かう力、人間性等】中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄についての学習に積極的に取り組むこと。

科目　世界史精講　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について理解すること	中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄について歴史的なものの見方や考え方について思考し、説明できること。	中世から現代に至るさまざまな歴史上の事柄についての学習に積極的に取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 ①中世西ヨーロッパ世界の変容や文化、宋から元の歴史について理解し、思考や説明を行うことができる。	・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化 ・アジア諸地域の自立と宋 ・モンゴルの大帝国 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 ① 西ヨーロッパ世界の変容、西ヨーロッパの中世文化、アジア諸地域の自立と宋、モンゴルの大帝国について理解する。 【思考・判断・表現】 ① 西ヨーロッパ世界の変容、西ヨーロッパの中世文化、アジア諸地域の自立と宋、モンゴルの大帝国に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ① 西ヨーロッパ世界の変容、西ヨーロッパの中世文化、アジア諸地域の自立と宋、モンゴルの大帝国に関する学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	アジアの諸帝国の繁栄 ①明と清、オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国について十分に理解し、思考や説明を行うことができる。	・アジア交易世界の興隆 ・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 アジア交易世界の興隆、オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の興隆、清代の中国と隣接諸地域ついて理解する。 【思考・判断・表現】 アジア交易世界の興隆、オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の興隆、清代の中国と隣接諸地域に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界の興隆、オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国の興隆、清代の中国と隣接諸地域に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	8
	近世ヨーロッパ世界の動向 大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの台頭、北欧・東欧の動向について理解し、思考や説明を行うことができる。	・大航海時代 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ・イギリス・フランスの台頭 ・北欧・東欧の動向 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの台頭、北欧・東欧の動向について理解する。 【思考・判断・表現】 大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの台頭、北欧・東欧の動向に関する問いに、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、オランダ・イギリス・フランスの台頭、北欧・東欧の動向に関する学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ①第二次世界大戦と前後の歴史について理解し、思考や説明を行うことができる。	・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序の形成 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊、第二次世界大戦、新しい国際秩序の形成について理解する。 【思考・判断・表現】 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊、第二次世界大戦、新しい国際秩序の形成に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊、第二次世界大戦、新しい国際秩序の形成についての学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について理解し、思考や説明を行うことができる。	・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について理解する。 【思考・判断・表現】 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺についての学習に、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	冷戦の終結と今日の世界 産業構造の変容、冷戦の終結、今日の世界、現代文明の諸相について理解し、思考や説明を行うことができる。	・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相 教科書、資料集、プリント、一人一台端末	【知識・技能】 産業構造の変容、冷戦の終結、今日の世界、現代文明の諸相について理解できている。 【思考・判断・表現】 産業構造の変容、冷戦の終結、今日の世界、現代文明の諸相について、歴史的なものの見方や考え方に基づいて思考し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業構造の変容、冷戦の終結、今日の世界、現代文明の諸相についての学習に、取り組む姿勢がみられる。	○	○	○	10
							合計 84